

第49回

【テーマ別】

市民と市長のタウンミーティング 報告書



○期 日 平成25年1月20日

○会 場 武蔵野スイングホール

武 蔵 野 市

ま え が き

武蔵野市では、市民が自らのまちを自らの手で創りあげていく市民自治の基本に立ち、市民と行政が一緒にまちづくりを進めていくプロセスを大切にしたいと考えています。

そのひとつの手法として、市民と行政が「同じ目線」「双方向」で、地域の課題や市政全般について率直に意見交換を行う場として、「市民と市長のタウンミーティング」を開催しています。

この会には、地域のまちづくりの拠点であるコミュニティセンターを会場として、市とコミュニティ協議会が企画・運営方法を協議し、協働して実施する「地域別タウンミーティング」、テーマを設定して、そのテーマの関連団体にご協力をいただきながら実施する「テーマ別タウンミーティング」、そしてテーマを決めないで実施する「青空タウンミーティング」がごございます。

テーマ別では、「商店街の振興」や「災害に強いまちづくり」「地域で支えあう福祉のまちづくり」「地域で育てよう！武蔵野の子ども」「災害時に試される地域力」などを開催しています。また、学生やシニアの方、外国人の方たちとまちづくりや活躍の場などについて意見交換を行いました。

今回は、西部コミュニティ協議会、境南コミュニティ協議会、桜堤コミュニティ協議会との共催により、「第49回市民と市長のタウンミーティング」として、地域の様々な課題について話し合いましたので、その結果を報告いたします。

今後も、市内の様々な場所で、タウンミーティングを開催していくことにより、さらに多くの意見交換を行ってまいります。

武蔵野市長

邑上守正

概 要

1. 日 時 平成25年1月20日（日）
午後1時30分～3時30分
2. 場 所 武蔵野スイングホール 11階 レインボーサロン
3. 主 催 西部コミュニティ協議会
境南コミュニティ協議会
桜堤コミュニティ協議会
武蔵野市
4. 参加者数 98人
5. 主催側出席者 市 長 邑上 守正
西部コミュニティ協議会 会長 木川 憲子
境南コミュニティ協議会 会長 高橋 勝義
桜堤コミュニティ協議会 会長 笹野 章嘉
都市整備部長 堀井 建次
武蔵境開発事務所長 福田 浩
市民活動推進課長 森安 東光
6. 司 会 境南コミュニティ協議会 藤島 俊一郎
市民部市民活動担当部長 大杉 由加利
7. テ ー マ 『みんなで話そう。武蔵境のまちづくり』

目 次

1. 発言の要旨	1
(1) 開会のあいさつ	1
(2) 武蔵境のまちづくりについて（要旨）	2
(3) 第1部「変わりゆく西部地域」をテーマにした意見交換（要旨）	
1. 都市農地、都市農業の保全について	5
2. 人口増加に伴うごみ処理について	6
3. すずかけ通りの安全対策について	6
4. 境こども園の代替施設について	7
5. 武蔵野プレイスの使い勝手について	8
6. 障害者の意見の施策・事業への反映について	9
7. 道路行政について	10
(4) 第2部「地域のコミュニティ」をテーマにした意見交換（要旨）	
1. コミセンの運営について	11
2. 桜野小、二小の学区、境こども園、通学路の安全対策について	11
3. 自主防災組織の強化について	13
4. 専門職との防災協定について	14
5. 集合住宅と周辺地域の関わりについて	14
6. くぬぎ園について	16
7. 桜堤児童館について	17
8. 西部図書館跡への地域スペースの設置について	18
9. 自主防災組織について	18
(5) 閉会のあいさつ	20
2. 当日いただいたご意見と市の回答・対応方針	21
3. アンケートでいただいた感想	28

— 付属資料 —

第49回「市民と市長のタウンミーティング」ちらし

1. 発言の要旨

(1) 開会のあいさつ

【市長】



皆様、こんにちは。今週の初めの成人式の日には雪が降りまして、まだ少し路面に雪が残っています。それをよけようとしたのか、昨日、境浄水場の隣のいなげやの前の道あたりで、交通事故が起きました。バイクの40代の女性だと聞いていますけれども、スリップして転倒し、そこにトラックが来たものですから、死亡事故になってしまいました。大変、痛ましいことでございます。ぜひ皆様方には、運転をする方はもとより、自転車や歩く際にもしばらくは凍っているところがございますので、ご注意くださいと思います。

さて、本日は多くの皆様にご参加いただきましてありがとうございます。今日は西部地区をテーマに、特に武蔵境駅周辺が大変、発展してまいりましたので、それについて皆様からいろいろな意見をお聞きしたいと思っています。タウンミーティングは今回のように、コミセンとの共催で行うものと、テーマを設けて行うものがございます。先日は、外国人の視点で武蔵野市のいろんな課題、提案をいただきました。大学生とのタウンミーティングを行ったこともございました。また、先日武蔵野プレイスの前の広場でも行ったように、青空のもとテーマを設けず、ご意見をいただくものもがございます。年7回程度、行っておりますので、ぜひタウンミーティングにお越しただいて、さまざまな声をいただきたいと思っています。

【桜堤コミュニティ協議会 笹野 章嘉 会長】



皆さん、こんにちは。今回は3コミセンと市の共催ですが、西部地域におきましては鉄道の高架化により南北の地域が一体化していく中で、改めて地域というものについて、皆さんと一緒に考えたいと思っております。そして、今日は皆さんと和やかに、建設的な意見をお聞きして、その中で問題意識が育まれたらいいなと思っております。我々は、地域の住民の一人であり、地域の主役であるという自覚を持って、自分たちがこの地域をよくするために一緒になって考えていただき、一緒にお話しできたらいいなと思っておりますので、どうぞよろしくお願いたします。

(2) 武蔵境のまちづくりについて (要旨)

【市 長】

現在、武蔵境はまちづくりが進んでいますが、これからのまちづくりを考えていくうえで、歴史というものをきちんと踏まえる必要があると思っています。

この地域がどのように発展してきたかという、350 年ほど前に玉川上水ができました。玉川上水はもともと江戸住民の飲料水として引かれましたが、これが敷設された後は、この水を使って農地が開拓されました。その農地を開拓する際、境地区には、松江藩、いまの島根県ですが、その藩主、松平出羽守直正の下屋敷があったそうです。その下屋敷がもとになって、この地域が開発されたという話があります。その証拠に、杵築神社がありますね。杵築神社というのは島根県の出雲大社もとの名前です。出雲の国と縁があるということです。

それから、玉川上水の開削に当たって人員が必要になりました。開削のために多摩から人が来ましたが、その一族の中に高橋家がありました。境地区は、高橋さんがいっぱいいらっしゃるはその関係です。高橋家というのは檜原村から数軒来て、この玉川上水の工事に携わったということなので、おおむね松江藩の下屋敷と同時に、檜原村からの移住者によってこの地が開拓され、境村になっていくというようなことであります。

その次に大きな変革点となったのが鉄道です。J R 中央線は明治 22 年に甲武鉄道として開通して、今年で 124 年になります。当初は新宿から立川まででしたが、その最初にできた駅 5 つの中の 1 つが、この境です。この鉄道が敷設された後は、駅を中心に住宅都市として発展していきます。

その鉄道も 122 年間、地面を走っていましたが、このたびの中央線の高架化事業によって南北の道がつながりました。この鉄道の高架化事業というのは大きなまちづくりの節目になっていると思っています。

さて、境が歴史的な町だということを皆様にご理解いただいたと思いますが、今まさにまちづくりが進んでおります。高架化事業はすべて完了し、今はそれに関連する周辺の整備を進めています。駅の南口の改札を出すと、アーケードのようなものがあります。あれは武蔵野市が駅に附属して造った施設ですが、それと同じような形で北側も工事着手いたします。そしてその後、北口の駅前広場を整備することになります。おおむね 2 年ちょっとかかると思います。

同時に、いろいろなところで道路工事が進んでいますが、都立武蔵野中央公園の前からずっと、境浄水場の東側を抜けて、塚の交差点に行く道(調布保谷線)ですが、来月早々、2月6日にいよいよ垂細垂大通りと井の頭通りの間の上下線が開通することになります。まだ全体の工事は進めますけれども、上下線の交通が可能になるということで、青梅街道から調布の方まで、かなり便利になっていくのではと思っています。



武蔵境駅北口のイメージ図

あわせて鉄道沿いにも側道を整備をしておりますが、これも間もなく、今年度の工事が終わりますけれども、さらにもう 1 年かけて東小金井側の側道を整備していくということでございます。あわせて東京都の天文台通り等の整備も進んでおりますので、完成すればかなり基盤的にはしっかりとした町になると思っています。

あとは、幾つか公共施設についてお話をします。もう 2 年前になりますけれども、武蔵野プレイスがオープンして、昨年末で利用者数が 200 万人を超えました。毎日、5,000～6,000 人ということで大変多くの方に利用いただいている施設でございますので、ぜひこれからも利用していただきたいし、そこからいろいろな交流、文化を発信していただきたいと思っています。それから、旧西部図書館の跡の利用として、歴史資料館を考えておりますけれども、そこに地域の皆様が利用できるようなスペースを設けていこうということで、今、検討を進めているところでございます。

また、境幼稚園を廃園して、新しく境こども園を開園しようということで建築を進めておりました。しかし、昨年 11 月末に建築を行っておりました業者が倒産しまして、工事がストップしてしまいました。大変申し訳ありませんが、4 月にオープンする予定だった境こども園の開園を延期せざるを得ません。ただ、申し込みをいただいている方がいらっしゃいますので、代替施設で当面は対応していこうということになっております。

それから施設で申しますと、あと 2 年ぐらい先ですが、武蔵境通りにあります消防署の境出張所が老朽化しておりますので移転することになります。今考えておりますのは、赤十字病院の近くに移転する予定です。移設後は、今の境の消防署には救急車がないのですが、病院と一体的になった新たな防災拠点になり得るということで、消防署も、赤十字病院側も大変、期待をし、ご協力をいただいているような次第でございます。

それから今、宅地開発が大変進んでいるのが桜堤地区でございます。旧公団、旧都営の跡地に大型のマンションが次々と開発されております。人口が増える、子どもたちの数が増えるというのは大変うれしいことではございますが、一方で、その学校区であります桜野小学校の児童数が激増しています。今、市内で一番児童数が多い小学校は桜野小学校になりました。当面はもう少し伸びるであろうという予測もございますので、間もなく桜野小学校の校舎を増築することになります。あわせて全般的に少子化対策というか、子どもたちの保育園の要望もまだまだ続いておりますので、そのような形で保育園の定員を拡充していくということと、J R も保育園をぜひつくりたいという話も出ておりますので、J R にも協力をいただいて、保育園の誘致を今後ともより一層進め、子育てのし易い町にしていきたいと思っております。

まだまだ、まちは動きますし、完成形というのはないですね。おそらく一旦できたとしても、いろんな施設が老朽化してきますので、それをまた変えていくということも大切でございます。道路にしろ、あるいはその下に埋まっている上下水道施設にしろ、かなり老朽化しておりますので、これは計画的にリニューアルしながら、この町を持続可能な都市としていきたいなと思っています。

もう一つ歴史的なこととして、本年、桜堤の第二小学校が開校 140 周年を迎えます。第一小学校、第二小学校はほぼ同じ時期に開校しておりますが、記録によりますと第二小学校のほうが早く開校したという話もございます。いずれにしても、2 つの小学校とも開校 140 年という

第 49 回タウンミーティング
H25.1.20 開催・武蔵野スイングホール
説 明 要 旨

歴史を、今年お祝いする予定になっております。歴史的ないろいろな経緯も秘めた境地区でございますが、鉄道の高架化事業、道路の整備等を含めてさらにまちづくりを進めていく段階に突入してございますので、ぜひこれを機に、これからのまちについて皆様のご意見をいただきたいというふうに思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

(3) 第1部「変わりゆく西部地域」をテーマにした意見交換（要旨）

1. 都市農地、都市農業の保全について

【ご意見】

桜堤に住んでいる。武蔵野市は、とても緑環境の豊かないい場所だと思っている。しかし、この地域は数十年の単位で見ると、開発に伴って農地が減少している。開発や整備は都市的な部分に目がいきがちだが、都市農業の意義が再評価されており、これは生産、供給という点からは量的には少ないが、緑の保持や防災面、学びの場であるといったところから、都市的な部分と、農村的な部分が入り組んで残っていくという形が望ましいのではないかと。そういったバランスにもご配慮いただきながら開発と整備を考えていただきたい。

【市長】

西部地区というのは市内では農地が残っているところです。武蔵野市内では約30数ヘクタールの農地がございますが、残念ながら減少傾向にあります。生産緑地として指定はしておりますけれども、相続の関係で減少傾向はなかなか止められません。しかし、農地というのは大切な緑地としての機能もあるし、最近では避難場所としての防災的な協力もいただいているので、多様な機能を持った都市内の農地をどうしたら残せるのかと、議論しています。その農地を残す大前提が、農業の継続です。農地を残すだけではなくて、農業が継続していかなないと、農地は残っていきません。幸いなことに武蔵野市では、農家が80軒あまりあり、若い方が頑張って継いでいただいておりますが、それに対して、市も支援事業も行っております。



もう一つは、この農業で生まれた生産物も市民の皆様に召し上がっていただきたいと思っています。地産地消ですね。その取り組みの一つとして、武蔵野市では中学校給食が全校実施になりましたので、給食の食材として、市内でとれた野菜を提供してもらおうということで、今、給食はすべて給食食育財団という武蔵野市の外郭団体をお願いしておりますけれども、その団体がJAと協定を結びまして、市内産の野菜を積極的に学校給食に取り入れようという動きが進んでまいりました。したがって、学校給食の3、4割近くは市内産の野菜ということで、子どもたちはまさに地産地消の実践を受けているということでございます。今後は、もう少し農家の方にも生産を拡大いただいて、市民の方がもっと市内産の野菜を楽しめる、食べられる、そんな仕組みも大いに考えていこうと相談をしているので、この都市部にあって、土地代は高いのですが、農家の方にも頑張って生産をしていただいて、バランスの良いまちにしていきたいと思っています。

【司会】

こちらの事務局に事前に寄せられた質問があり、少し関連しますのでお読みしますと、「農地以外の緑地地帯を、森林、林を含めた緑地をできるだけ残していくような開発をぜひお願いしたい」というコメントが来ておりますので、お伝えしておきます。

2. 人口増加に伴うごみ処理について

【ご意見】

この西部にあっても一番西側にある私たちの住んでいる桜堤団地は、今またすごく変遷している。この団地は公団から民間になるとともに、高いビルのマンションになった。余った土地を今、民間の業者に売っている。世帯数で言うと300世帯から500世帯ぐらいのハイクオリティマンションが、3、4棟建っている。戸建て住宅もある。私はごみの仕事も、市役所から頼まれてやっているが、一番心配なのは、1,500世帯ぐらい増えると、おそらく4,000～5,000人、人口が増えるので、ここから排出されるごみが膨大なものになるだろうということだ。現在、クリーンセンターの建て替えが進捗中だが、当然のことながら行政はこれらのことを前もって予見し、踏まえてつくっているのだろうと思うが、一般の方々にはなかなか、浸透していないのではないかと思う。人口増加に伴うごみ処理の問題について、分かり易く担当の方からご説明いただければと思う。

【市長】

今日はクリーンセンターの担当職員は来ておりませんが、ご指摘のとおりごみの問題というのは自治体にとって大きな課題です。お隣の小金井市も大変、苦勞されています。武蔵野市もごみのさまざまな課題の歴史があって、今は自分の市で焼却場を持って、そこで処理をしています。しかし処理をして燃やした灰は、我々でその後の処理することはできませんので、日の出町にあります広域処分場でエコセメント化しています。そのセメントを使っていろいろなブロックの製品をつくって、市の公園だとか、道路で使っており、そういう循環が今スタートしております。ですがごみは少ないほうがいいに決まっていますし、現在、建て替えの計画を進めております私どものクリーンセンターも、現在の焼却量は年間35,000トンですが、もっと減らそうということで、30,000トンという目標で焼却場を検討しております。

この間、皆様方にもご協力いただいて、ごみの量がかなり減ってきました。かつては1人1日当たり700グラムを超えていましたが、今680グラムぐらいになっています。しかし、この量というのは多摩地域ではワースト1ですね。もう少し工夫することによってごみの量が削減できると思っております。一つは生ごみの堆肥化ですね。クリーンむさしのを推進する会では、生ごみの堆肥化を盛んに検討いただいて、段ボールを使ったコンポスター「生ごみ活かす君」の無料モニター実施などの啓発をいただいておりますが、各家庭でも生ごみを少なくするような工夫もいただきたいなと思っております。



生ごみ活かす君

ちなみに、ごみの処理料は年間30数億かかっておりますので、ごみの量が減れば、その分ほかの施策に振り向けることができます。ですので、ごみの減量にこれからもご協力いただきたいと思います。

3. すずかけ通りの安全対策について

【ご意見】

境に住んでいる。道路について市長のお言葉の中にあっただが、開発にあたって道路はものすご

く大切だと思う。市の考え方だと、道路を人優先に改めていくという考え方だろう。車優先ではなくて人の安全のための道、それから防災に必要な道にして欲しい。

今、山中踏切を通る都道が開通しようとしているが、それにあわせて市道292号線（すずかけ通り）が新しくできて、都道が渋滞すると、すずかけ通りにもたくさんの車が迂回路として流れ込むおそれがあるので、できるだけ安全な、例えば信号機をつけてもらいたいとか、ミラーをつけてもらいたいということを市にお願いした。ところが10月21日に市主催の説明会があり、この中でちょっと残念だったのは、事故が起きたら安全対策を考えるという返答だったことだ。私たちは、事故を防ぐために安全設備をつけてくれとお願いしたが、この圧倒的な違いについて、市の基本的な理念である道を人優先に改めていく考え方に基づいて、市長のご意見を聞きたい。



【市長】

まださまざまな道が整備途中なので、中途半端な状態で、やや交通的には危険な箇所もございますが、ゆくゆくは整備が進めば、例えば調布保谷線が開通し、それから3・4・24号線ですか、それも開通していけばかなりの面で南北交通が整理されてくることになっていくと思っています。そうなれば、住宅地に入る車というのはそれほど多くないと予測しておりますので、全体の交通の体系が整った時点で様子を見ましょうということを考えています。市では基本的には車が通過する道を確保すれば、住宅地の中の通過交通も避けることができ、歩行者優先の街区になっていくだろうと考えております。住宅地の中は歩行者優先でいきたいと思っておりますし、私の基本的なまちづくりのコンセプトは、「歩いて楽しいまちづくり」でございますので、そのような理念のもと、今後ともまちづくりを進めていきたいと思っております。292号線も、2月、3月ぐらいに開放いたしますので、様子を見ながら、必要な対策を積み重ねていきたいと思っております。

4. 境こども園の代替施設について

【ご意見】

桜堤に住んでいる。市立境幼稚園跡に建設中だった境こども園の開園の遅れについてお聞きしたい。

4月から、正式な園舎が完成するまでは代替施設での保育を実施するということだが、いまだに入園内定者にはどこの施設で代替保育をするかという連絡もない。長時間保育の内定者に対しては説明会も開かずに文書を郵送したり、電話で対応するだけで、ほかの保育園への転園か、代替施設での保育を希望するか選択させるという対応で、不親切というか、お粗末だと思う。周辺の保育園で、もともと境こども園に入園する予定だったお子さんたちを受け入れるということなら、また新たに待機児童が生まれるという問題もある。市として待機児童の解消と、幼児教育の重要性というのを真剣に考えているなら、入園内定者を全員受け入れられるような代替施設をどこかに造るなり、準備する責任があると思う。そもそも、境幼稚園跡に新しい園舎を造るに当たって、園庭がすごく狭くなる計画だったので、建築計画の変更を多くの市民が求めたが、それに

対しては25年4月の開園を遅らせるわけにはいかないということで、その建築計画を推し進めたのであって、たとえ建築業者の倒産が不測の事態だったとしても、4月からきちんとした環境で保育を進めるべきだ。代替施設は、既存の施設に間借りするような状態では安全な保育、満足な教育はできないと思うし、もともとその施設を利用している方にもしわ寄せがいくと思う。具体的に今後、どのような対応をとるつもりなのか。

【司会】

事前に事務局にいただいたご意見でも、待機児童や境こども園の開園についてなど、類似したものが5件寄せられております。

【市長】

境こども園の件で、本当に皆様にご迷惑、ご心配をおかけしていることをお詫びいたします。私どもも全く予想しなかった事態でございまして、その対応に追われているところでございます。まずは、なるべく早く境こども園の建築を再スタートして、完成を早めていきたいと思っております。ただ、工事の状況確認をして、次の業者につなぐための権利の調整が非常に難しいということもございます。今、弁護士と相談しながら、鋭意努力をしているところでございます。とはいえ、4月から予定いただいているご家庭がありますので、そのご家庭の皆様にはしっかりと対応していこうと思っております。

ただ、皆様はちょっとわかりにくいかもしれませんが、境こども園というのは簡単に言うと、幼稚園的な部分と保育園的な部分に機能が分かれるのですが、それを一緒にした新しい施設なので、共有して使うようなスペースの確保はなかなか難しいと判断しており、4月からは当面、幼稚園部分と保育園部分を分けてやらざるを得ないと判断しています。最終決定をするにはもう少し、その施設を使っている方を含めて意思統一を図る必要がございますが、おおむねその場所が候補として確定してまいりました。一つは、今、児童館でこども園をやっておりますが、そちらでは幼稚園部分を行い、それからもう一つは、市民会館を利用し、1階部分の図書コーナーがプレイスに移りましたので、そこを大至急、改修して保育園部分として対応できないかどうかということを検討しております。市民会館は教育委員会の所管でございますので、今、教育委員会とも相談をしております。おおむねその方向で理解をいただけるのではないかとということで、該当の皆様には直接、ご案内をしてご説明をしていきたいと思っておりますので、どうぞご理解いただきたいと思っております。

【ご意見】

未就学児というのは一日一日、成長していくものなので、小学校入学前というのは子どもたちの成長にとって非常に大事な時期だ。きちんとした環境を用意していただいて、開園時期はもちろん早めてほしいが、開園したときに、今まで分かれていた長時間と短時間の保育の子どもたちがスムーズに一緒に活動できるように、きちんと配慮していただきたい。

5. 武蔵野プレイスの使い勝手について

【ご意見】

富士見通り商店街で働いている。プレイスについてだが、境の商店会連合会で一昨年はイルミネーション、昨年度は日曜日の朝にマルシェをやり、あと、落語会でも利用した。1日5,000から

6,000名が利用されているというわりには、我々が何かイベントをやろうとすると非常に使いにくい。例えばチラシ一つ置くのも、1階部分には置けないとか、そこでイベントをやるのにそこへはポスターを張らせてもらえないとか、利用しにくい部分が多いというのが、ここ何回か使っていて感じている。複合施設であることが、足かせになっているのではと感じる。具体的には、ポスター、チラシを張れなかったり、あるいはエレベーターの利用を、4階に搬入搬出したいといっても、時間が1時だから1時にならないとエレベーターを使うことができませんとか、融通がきかない。2月10日に落語会を行うので、準備が1時からで開演が1時45分だが、45分間の短い時間に我々は仕事を抜けて、設営等を行うので、ぜひ利用しやすいような形で対応していただきたい。

【市長】

プレイスをいろいろご利用いただいて、ありがたく思っています。いろいろな方が利用いただいているので、さまざまなイベントがあって、大変いい状況になってきているのではないかと思います。一方、若干、融通がきかなくて困っているという話があるとすれば、これはプレイスにも、どういう工夫が可能か聞いてみたいと思います。ただ、ある一定程度のルールは必要だと思いますので、時間の問題と、それから掲示物の問題はかなり厳しくやっているかと思っています。今後は、どのようなやり方がより利用者の皆様に好ましいかも含めて、よく研究させるように伝えていきます。ご意見ありがとうございます。



武蔵野プレイス

6. 障害者の意見の施策・事業への反映について

【ご意見】

手と足に1級の障害を、介護のほうも認定を受けている。市には大変お世話になっている。何でもない人が何気なく、歩けない私を助けてくださったり、市に用事で行ったときも、皆さん親切にしてくださって非常にありがたい。しかし、障害者として全体が集まって話し合いをする場所が何もない。八幡町に障害者福祉センターがあるが、新年会するときには、市議と市長が、大勢いらしてくださったが、ほとんどの人が居眠りをしている状態で、全部の方からあいさつが終わったときはくたくたになっていて、何を話されたかわからないという状態で、その後は何も話し合いができなかった。

プレイスができるときに、障害者のトイレについて希望を言ったが、すごくいいのができるからと言って、私の意見を聞いてくれなかった。できあがってみれば、私のように全く歩けない人間にはわかりづらいものだった。車の駐車場は広くて、いつ行っても私たちの車1台だけという、そんなありがたい駐車場はあるけれども、エレベーターをおりるとトイレがあるところもわからなかった。

また、このような会のときは、市民に顔が見えるように、関係職員も精いっぱい大きい声で顔もこちらに向けて座るようにお願いしたい。障害者の声を施策・事業に反映させてほしい。

【市長】

武蔵野市も、障害者の方のためのいろいろなまちづくりをしていこうということで、プレイスにつきましても、だれでもトイレを各所に設けております。ただ、最初に来られた方がどこに何があるかわかりづらいということならば、これは大いに反省しないといけないと思います。利用を始めていただければ、非常に便利な施設になっておりますので、ぜひ障害をお持ちの方でも健康な人でも、大いに使っていただけたらと思います。また、障害をお持ちの方で何かご不自由なことがあれば、ぜひ提案をしていただけたらと思っています。

7. 道路行政について

【ご意見】

境に住んでいる。長く住んでいるが、いまだに道路の整備が終わっていない。家を建て替えるときに、道路として使っている部分にも家を建てているところが実際にある。道路が整備されていないから、こういうことになるということをどうして説明してもらえなかったのかと思う。早く道路を整備していただきたい。

【市長】

おそらく昔、農地だったところが開発されるときに、私有地のまま道路になっていない状況で開発されたところが幾つか残っているようでございまして、それは、通路のように見えても法律上は道路として見なされないとすると、いろいろな条件が変わってきます。その辺については、なかなか難しい課題があると認識しております。道路整備は、まちづくりの基本でございまして、これからも整備を続けていきたいと思っています。

(4) 第2部「地域のコミュニティ」をテーマにした意見交換(要旨)

1. コミセンの運営について

【ご意見】



桜堤に住んでいる。先々月まで西部コミセンの運営委員をやっていた。ところが、急にコミセンの運営委員になるための資格が論議されるようになり、いわゆる定年制というのか、80を過ぎたら引退という話になった。該当する本人の前でそういうことを論議されると、「結構です、やめさせていただきます。」と言わざるを得なくなってしまう。

運営委員の方、役員の方々にお願いしておきたいのは、コミセンは人の和を交えるところだ。人と人が支え合って、癒やし合って、和み合って、そしてそこから生まれてくるコミュニティを大切に育てていくところが、私はコミュニティセンターだろうと思っている。できることなら、集まってきた人たちをできるだけ人間らしく、優しく迎えてやってあげる雰囲気をつくっていただけないかと思っている。私たちに訴える場がないとすれば、やはりお役所の方々にすがらざるを得ない。しかし、武蔵野市はどういうわけか、半世紀以前からコミセンの運営に関して、金は出すけど口は出さない、これを金科玉条のごとく、半世紀言い続けてきている。ぜひそこら辺をご指導いただきたい。

【市長】

コミセンの運営のあり方の課題をいただきました。基本的にはコミセンは自主三原則に基づくものなので、地域の方が主体となって運営していただくというスタンスでございますので、市があれをしなさい、これをしなさいというスタンスではないですね。ただ、今のように課題があったときに、なかなかコミセンだけでは課題解決が難しい、あるいは個人の課題として、コミセンで相談するのが難しいような場合には、市がやはり何らかの支援をしていくことは、当然のことだと思います。ちょっと行き違いがあったかもしれませんが、そのようなことがあればこれからも市がお聞きして、課題解決に向かっていきたいと思っています。あわせてコミセンというのは、世代を超えたさまざまな方に運営を担っていただく組織だと思っています。定年制の是非についてはよくわかりませんが、基本的にはその役割を担っていただける方であれば、コミセンのいろいろなルールはあると思いますけれども、力を出し合って、世代を超えてこれからも運営に協力していただければいいのではと思っています。

2. 桜野小、二小の学区、境こども園、通学路の安全対策について

【ご意見】

境に住んでいる。三つ質問したい。まず桜野小学校を増築しなければいけないという話だが、私の娘たちが第二小学校に通っているが、第二小学校は、1学年2クラスを維持するのが難しいぐらいの過疎化の学校だ。片や、大人の足で10分歩けば着く桜野小学校は校舎が足りないという。何が問題でそういうことになるのかお聞きしたい。学区を少し広げれば何とかできるのではないかな。

二つ目は、前半と重複するが、西部地区の境幼稚園が廃園したことによって、幼稚園児が増えたときの収容について、今のこども園の対応では、お母さん方がなかなか納得されていないようだ。市長から頑張りますとか、こういうふうにしたいと思いますということではなくて、具体的にどういう担当部署で、相談ができるということ言えば、お母さん方の不安がなくなるのではないか。

三つ目は、昨日浄水場の横で死亡事故があり、朝8時半に全面通行止めになっていて、昼ぐらいまで混乱していた。原因は、ダンプカー絡みのオートバイとの事故だという話を聞いている。あの辺は今、開発が進んでいて、第二小学校の前のコーナーのところや、武蔵境通りの広いところに、朝、ダンプカーが多く停車している。ほとんど朝、エンジンはかけっ放しで、おそらく時間待ちをしているのだが、あの辺は警察に言ってもなかなか落ちが明かない。交通事故が起きてからでは遅く、特に通学の時間帯は、横断歩道の近所で大きなものが止められると見通しが悪くなり危険なので、その辺の安全について警察だけではなく、市でも何とか子どもたちの安全を守っていただきたい。

【市長】

まず桜野小の増築ということでございますが、学区の変更については、教育委員会でいろいろ検討しましたが、結果として、現在の学校区を改変すると課題がもっと大きくなってくるだろうとのことです。例えば、在校中の児童と新たに入学する児童が、兄弟姉妹で別々の学校に行くことになっては困りますので、現在の学校区の中で基本的に考えていこうということです。今回の増築をすればこれから予想される児童数のピーク時にも対応できるという見込みも立っていますので、桜野小地区につきましては増築で対応する予定です。



それから二点目の境こども園の件は、今、具体的な対応策を考えております。該当者には直接お話しする機会を持つ予定ですが、しっかりとした対応をしていきたいと思っています。

それから三点目は、交通事故が起こったということで、注意をいただきたいということと、それとは別にいろいろなところで工事を行っているものですから、工事車両が多いということがございます。武蔵野市の場合は、例えば民間のマンション工事についても、工事車両のルートや利用できる時間を厳密に打ち合わせして、特に通学時間帯に重ならないようにということを業者と申し入れをして、協定を結んで工事をやっておりますが、引き続きこの周辺は工事現場が多いので、子どもたちの安全を十分に考えていきたいと思っています。業者に対しても強く、さまざまな安全対策を要請していきたいと思っています。

【ご意見】

時間帯が決まっているという話は知らなかったが、現実に通勤通学時間帯の8時から8時半ぐらいに、アイドリングをして武蔵境通りに停車しているダンプカー等は違反だということか。

【市長】

以前、警察にお願いした経過もございますので、状況をもう一回見まして、必要に応じて警察にも協力を呼びかけてまいります。

3. 自主防災組織の強化について

【ご意見】

境に住んでいる。12月に私たちの自主防災組織で夜間訓練を行った。武蔵高校や桜野小学校、が避難先になっているが、避難所までどういう経路で歩いたらいいかということと、そこにどんな備蓄食品が置いてあるかということ、市の防災課の方の指導を受けながら訓練を行った。今お願いしたいことは、自主防災組織が最近かなり増えたが、まだまだ少ない。東日本大震災の経験がのどもとを過ぎればというような状況になっているが、市で、もう少し本腰を入れて防災組織をつくっていただくことが重要だと思う。先ほど道路の問題も出たが、道路は、災害時の人災を防ぐという意味で、市民のためになればいけないと思う。市も考えていただいて、行政の方々の頭をやっぱり変えていただかないと、市民のための行政はできないのではないかと。このことを強く市長には申し入れたい。



消火訓練の様子

【市長】

阪神・淡路大震災から18年、関東大震災から今年は90年目だそうです。我が国は地震国であります。そういう大震災の経験を教訓に変えて、さまざまな取り組みを積み重ねてきたのではないかと思います。東日本大震災から2年ですが、そういった経験、教訓等を踏まえて地域防災計画の見直しも行っておりますし、地域での防災組織の強化は不可欠だと思っておりますので、この間さまざまな呼びかけをしているところでございます。

まず、避難所というのは武蔵野市内に20カ所ございますが、実際にその避難所を運営するのは誰かという、極めてあいまいな状況があります。今までの経過から、現在では市内で7カ所、防災のための避難所運営組織が設立されております。それから、従来から地域にはいろんな防災組織がございまして、自主防災組織も現在では市内で36組織生まれております。武蔵野市の場合にご案内のとおり、町会とか自治会がそれほど密に展開されておらず、加盟率が大体10数%しかないで、きちんとした別個の防災組織を確立しなければいけないと思っています。ですが、その担い手が地域の皆様でございますので、どうしても行政主導でやると行き詰まってしまう。ですので、なるべく皆様が自主的に組織化をしていただけるような、そんな支援をいろいろしているところでございます。今日、お越しの皆様が地域にそういう組織がないとすれば、ぜひ地域の皆様で、お話をさせていただいて、まずは防災訓練がしたいんだということであれば市の職員を行かせますので、それからだんだんと輪を広げて、どういう範囲で組織化が可能かどうかについても、ぜひ議論をしていけたらと思っています。

それから、道路というのも例えば火災が起きたときに防火遮断帯になったり、あるいは避難物資の輸送が必要だったり、災害時には大切な空間です。その意味では、先ほど冒頭に申し上げましたとおり、きちんとした幹線道路、車が通過できる道路も必要になってきますし、それから消火活動の時にはしご車が設置できる道路というのは、幅員が9メートル以上必要なので、高層ビルの周辺にはそういった道路もきちんと整備しないと、はしご車の活動ができないということに

なってきます。歩行者にとって優しい、歩いて楽しい道づくりをしたい、まちづくりをしたいということもあるのですが、それと同時に防災的な機能も考えた上での道路ネットワークということも検討すべきだと思っています。

4. 専門職との防災協定について

【ご意見】

境南町で整骨院をやっている。治療をしている中で患者さんに対して健康に役立つところとしてお伝えしたいのだが、コミュニティセンターへの参加がしづらい。参加をもっとしやすい環境づくりができればいいのかなと思う。

先ほど防災の話があったが、現在私たち接骨師も何かあったら避難所に足を運んで医療活動をするということもできるのではないかと考えている。市長から要望などがあれば、こちらから手伝いもできると思うので、言っていただければと思う。

【市長】

今、武蔵野地域にあります柔道接骨師会と防災の協定を結ばせていただいています。というのは、今おっしゃっていただいたとおり、有事にはいろいろけが人が増える可能性があります。それを診ていただく、支援いただくために避難所に駆けつけていただけるよう協定を結ばせていただいています。それと同時に、おそらく皆様は、お力が強い方がいっぱいいらっしゃると思いますので、市内のいろいろな地域で自主防災組織をつくっていくというお話をしましたけれども、そういう組織が立ち上がったときに、地域の一員としてもそこに参画いただけると大変ありがたいと思っています。ぜひ、今日のいろいろな意見をお仲間の方にもお伝えいただきながら、お力をいただきたいと思います。ありがとうございます。

5. 集合住宅と周辺地域の関わりについて

【ご意見】

桜堤に住んでいる。私は昨年4月に横浜から、桜堤にできた新しいマンションに引っ越してきた。今回のタウンミーティングのテーマが地域のコミュニティということで、まさしく私が持っている課題とタイムリーだった。

私たちのマンションは若い世代と、定年退職された後で終の棲家として選ばれた方と二極化しており、私たち定年後を武蔵野で過ごそうとしている者にとっては、やはり地域のために何かをしたいと思う。目の前にある老人ホームでボランティア活動をしたりし、いろいろ地域の中に溶け込んではいれると思うが、やはりまだマンションの中には、管理組合はあっても自治組織というものがないので、中高年のみんなでお互いに声をかけ合いましょうということで、今、数十名で2カ月に1回ぐらい会合を持って、活動を進めている。お伺いしたいことは、集合住宅と周辺住民の方々と、どういうふうにしてうまくいっているか。うまくいっている事例があればお教えいただきたい。

【市長】

大変いいご指摘をいただいたと思っています。新しいマンションに限らず、武蔵野市内には多くの集合住宅、社宅等がございまして、おおむね世帯の7割ぐらいは集合住宅にお住まいです。

私もマンション住まいですが、確かにマンションの管理組合はあるが、いろいろな活動をする自治会までは至っていないところが多いです。しかし、災害、防犯、高齢者福祉、子どもたちのさまざまな健全育成などを考えると、そういう地域のつながりが不可欠なんですね。

武蔵野市は集合住宅が多いのですが、コミュニティセンターを拠点にしてさまざまな方をつないでいこうという試みをしてございます。お住まいの地区は西部コミセンと桜堤コミセンがございまして、皆様の参加はウェルカムです。しかし、なかなか、コミセンの状況もわからないような方が多いかと思っていますので、これから市も皆様にいろいろ宣伝をしてみたいと思いますが、コミセンからもこんなイベントをやるのでぜひ手伝ってくれませんか、そういうことをお伝えしていただけたらと思います。コミセンの代表の方がいらっしゃっていますので、ちょっとご意見を言っていたきたいと思います。

【桜堤コミュニティ協議会会長】



左から西部、境南、桜堤コミュニティ協議会会長

のきた集合住宅ですと、我々が案内のチラシを配ることすら難しいというような地域もあります。なんとか工夫して、マンションの中の方を運営委員の中に取り込んで、地域に貢献したい、または一緒に活動したいということを進めております。

基本的に桜堤地域ですと、新しくできたマンションの中の方が1人、運営委員になってくられて、その方を通じてマンションの中の人たちに伝達をし、情報を広げたりという形で、点を線に広げていくという活動を今、始めたところです。なかなか我々の広報活動というものが十分に行き渡らないところもありますけれども、一つの方法として、武蔵野市の16のコミセンは、全戸配付という形で広報紙を発行しております。その中でイベントの紹介なり、地域の情報というものを流しておりますので、自分もその中に一員として参加したいというご要望がありましたら、今、市長が言われたようにウェルカムですので、ぜひとも参加していただきますように、よろしくお願ひいたしたいと思ひます。

【境南コミュニティ協議会会長】

境南のほうも最近は大規模マンションがぽつぽつと建ってきました。そんな関係で、マンションに住んでいる方がコミセンにどうしたら来てもらえるかということで、運営委員会でもよく話が出ます。どうしてもマンションは、隣にだれが住んでいるかわからない、下に誰がいるかもわからないというような現状ですね。ただ、大きなマンションには管理組合がありまして、中に入っている人たちが会議をする部屋はあるそうです。だけど、ちょっと小さいマンションでは会議を

16コミセンの集まりでも会長をやっております。地域には高齢の方も、新しく来られた方もいらっしゃる。そういう状況のことを我々は、多様な方たちの集まりと言っておりますけれども、16のコミセンといひましても地域ごとに住まわれている方たちが違ひます。集合住宅に入っている方と、周辺の方たちという区別をしているわけではありませぬ。しかしながら最近のロック

する部屋がないということで、境南コミセンに来てマンションのお話などをされています。そんな関係で、そういう人たちがコミセンに来るようになっていきます。

先ほど笹野会長が言っていましたけれども、その方たちに運営委員に入っていただきますと、マンションにお住まいの方たちがコミセンへ行って、楽しくみんなとやれるんだということがわかっていただけたと思います。少しずつマンションにお住まいの方たちもスポーツとか、災害のときにこうしたらいい、ああしたらいいというようなことを一緒に訓練もできます。協力員という方もおり、現在70人ほどいらっしゃいます。先ほど言ったように大体、7,300部ほどの広報紙を出しております。マンションに配る際に、ロックがかかかっていて困るんだけど、マンションの管理人さんと話をしまして、掲示板に張らせてくださいというお願いをしております。

【西部コミュニティ協議会会長】

西部コミセンも境南コミセンと同じように、運営委員、協力員という体制でやっています。コミセンニュースも6,500部をつくりまして全戸配付をしたいところなんですけど、新しいマンションはほとんど入れてもらえないので、これが非常に悩みです。コミセンニュースを通じて、またコミセンのところの掲示板を通じて、いろんな事業の案内をしていますので、それをご覧になって、何か疑問に思うこととか、ご意見とかありましたら、どうぞ窓口のほうにお寄せいただければと思っています。2月17日には利用者懇談会も開きますので、皆さんが何かご意見がございましたら、そちらでも、ご意見を寄せていただければと思っています。

6. くぬぎ園について

【ご意見】

桜堤に住んでいる。桜堤の軽費老人ホームくぬぎ園は、100世帯ほどあるが、改築されるということで新規の入居がない。その改築に伴い、東京都の用地ということで、東京都から軽費老人ホームが武蔵野市に移管されて今まで管理されてきているという経過の中で建て替えになるわけだが、軽費老人ホームの機能を残すことをぜひお願いしたい。高齢者などの低所得の方で行き場所がないというような方々が多く出ている中で、国と都が助成をして施設を240ぐらいつくりたいということだが、今までできたのは15施設で、わずかということだ。まだ始まったばかりの助成だそうだが、そういった助成も使って、ぜひ強く要望していただきたい。

【市長】

桜堤ケアハウスの南側にありますくぬぎ園につきましては、従来は都の施設であったものを、建物だけ市に移管をいただいています。ただ、建物が老朽化し、入居から時間が経つなかで、利用者の方が、いわゆる軽費老人ホームの利用者より介護度が増してきてしまったものですから、なかなかその施設の本来の目的が叶っていかないということもあって、廃止の方向で東京都と合意をしております。ただ、私どもとしては何らかの形で、土地をお借りして福祉施設として活用を続けたいなと思っています。それにつきましても東京都の合意がないと、その土地の利用もできないということでございますが、今後とも東京都といろいろ相談をしながら、ご提案いただいたことも含めて検討してまいりたいと思っています。

7. 桜堤児童館について

【ご意見】

境に住んでいる。子どもたちのコミュニティの場でもある桜堤児童館はこれから先、児童館機能を全市的に発展させた後に桜堤保育園の分館として使用して、ゆくゆくは0123になる計画と聞いている。また桜野小学校が今、児童数が増えている。先日、桜野小の増築説明会に出たが、もう教室をつくることにいっぱいいっぱい、あそべえのスペースは広げることにはできないとの話だった。それなら子どもたちを見守ってくれる人のいる居場所として、桜堤児童館をできるだけ長く残していただきたいと思っている。

市の計画だと、子どもへの学齢別に居場所を小学校はあそべえ、それより下の年代は0123



なり、今は児童館があるので、児童館だったり、あと、こども園ができましたらその自由来所スペース、そして中学生はプレイスというように、結構すみ分けられているような計画になっているが、児童館は、乳幼児をお持ちのお母さんから中学生までの、幅広い年齢の交流が持てるいい場所でしたので、全市的にそういうスペースを展開していくような方向で考えていただきたい。

【市長】

児童館は市内に1館だけなので、利用はやはり地域の方限定になっております。武蔵野市としてはそれを全市的に展開していくという考えはなくて、あそべえというものが各小学校にありますので、あそべえにもう少し、児童館的な機能をと考えております。その意味で児童館的機能を全市的に発展していくという方向性なんです。もう一つ、桜野地区の問題は児童数の増加ということで、今、いろんな課題がございます。あそべえも場所がないんじゃないか、それから学童クラブも大変多くの方が要望されて、場所がなくなっていくんじゃないかということもあり、今、旧桜堤小学校の敷地を使った補完的なことは考えられないか検討を始めております。具体的にはその敷地を使って、道を挟んで反対側になりますけれども、学童クラブなりあそべえなりをそちらに移せないかと検討していく予定なんです。児童館だと若干離れますので、そこにあそべえを持っていくと学校との距離が出てきてしまいますので、できれば旧桜堤小学校の敷地を当面、有効活用できないかと思っているところでございます。

【ご意見】

児童館は、大体いつごろまで今の状態であるのか。

【市長】

まだ、明確に最終決定しておりませんが、子育て施設の再編ということで、境こども園自体がストップしてしまっている面もございますので、そのゆくえも見ながら慎重に検討していきたいと思っています。

8. 西部図書館跡への地域スペースの設置について

【ご意見】

境に住んでいる。私はちょうど、武蔵野市の一番西の端に住んでいる。都営と、市内で一番古い西交會という町会がある。昭和28年に結成し、もう60年ぐらいたつが、住民も3代目、4代目になっている。今、居場所の問題があり、久しぶりに集まろうということになり、今年で2回目だが40人ほど集まり、下は2歳ぐらいいから100歳近い方も一緒に話し合いをした。その際、都営の自治会の場所をお借りした。話に出ているよう



旧西部図書館

に、西部図書館跡を、上のほうは郷土館、下のほうを地域のということで、ぜひそれをお願いしたい。というのは、西部コミセンもそんなに遠くはないが、年代が上がると、そこへ行くまでも大変だ。ですからムーブスを通してほしいとは言わないが、図書館跡をぜひ地域の人たちの居場所にさせていただきたい。

【市長】

西部図書館の跡利用の施設につきましては、2月になって説明会を予定していると思いますので、ぜひその説明会でお聞きいただきたいと思いますが、大きな集会室を設けるということはないというふうに考えています。基本的には歴史資料の収蔵場所が上にあつて、展示コーナーが下にあつて、その一角を資料コーナー的なもので、皆様に自由に来所いただいて、そこでいろいろな情報、新聞を見てもらうような個人利用が主になってくるかと思ひます。何十人も入れるような会議室までは予定はなかったと思ひますけれども、ぜひ説明会に来ていただいて、ご意見をいただきたいと思ひます。

9. 自主防災組織について

【ご意見】

桜堤に住んでいる。先ほど、マンションにお住まいの方から地域とかかわりを持ちたいというお話があつたが、私も49世帯のマンション住まいだが、毎年、親睦ということで餅つき大会をやっている。その中で話になつたが、3・11を受けまして自主防災組織をつくろうという話になつた。マンションのほうも地域につながりを求めているということなので、私も地域の役割をいろいろやっており、そのかけ橋になりたいと思ひている。

とかく、マンションに住んでいる人は個人主義なんじゃないかというような偏見もあるように聞かすが、決してそうではない。うちのマンションだと、これは管理人さんの協力のせいかもしれないが、皆さん、非常に仲よくやっている。また、49世帯だがいろんな形で、PTAだとかコミセンだとか、赤十字奉仕団だとかに参加している人もいっぱいいる。そういうことなので、決してマンションは別世界ではない。

特に、私の住んでいる桜堤二丁目の南のほうには、今まで公団の空き地だったところにどんどん大型のマンションが建つて、新しい住民の方々がいっぱい来ている。武蔵野市の人口が、20年間ほとんど同じだったのが、ちょっと増え始めているというのはおそらくそのせいじゃないかと

言われているようだ。また、学校も大変らしいが、これから防災、まちづくりをしていくためには、集合住宅と地域の連帯、それをきちんとやっておくことが非常に大事だと思う。私も及ばずながら力を尽くしていきたい。

【司 会】

今のお話、私もマンション住まいで、やはり自主防災をつくるというのはとても大事なことだと思います。しかし、なかなか切り出しにくい話でもあって、何かその辺を市の防災課あたりから、PRというのか啓発というのか、マンションを単位にしてやったらどうだというような、そんな動きはないのでしょうか。

【市 長】

居住単位での自主防災組織は必要なので、今、管理組合向けに、まずは防災訓練をしてほしいとか、できれば管理組合で防災組織をつくってほしいとか、そういう呼びかけをしております。1名でも構いませんので、その状況を防災課にお聞きいただいて、地元の皆さん方のマンションでどうやったらそれが展開できるか、作戦を練ることができると思いますので、ぜひ声をかけていただきたいと思います。

(5) 閉会のあいさつ

【境南コミュニティ協議会 高橋 勝義 会長】



本日は、このようにたくさん参加していただきまして、ありがとうございます。境を皆さんと一緒に、安全で安心なまちづくりに向け前進していきたいと思っております。これからも各コミセンも頑張っていきますので、皆さんの協力をよろしくお願いいたします。

【市長】

本日はありがとうございました。先ほど人口の話が出ましたが、けれども、武蔵野市はずっと 13 万何千人で、40 年ぐらい続いているんですね。ですが、このところ微妙に人口が増えているんです。今、1 月 1 日現在が 13 万 8,868 人です。

今までは 13 万都市と言っていましたが、増加傾向はもうしばらく続きそうですので、今はもう 14 万都市と言ってしましましょう。14 万都市にふさわしいまちづくりをしていきたいし、その西の拠点である境地区を皆さんと一緒に、いいまちづくりを進めていきたいというふうに思っています。これからもよろしくお願いいたします。



2. 当日いただいたご意見と市の回答・対応方針

(※アンケートでいただいたご意見も含みます。また、同じ趣旨のご意見については、一部割愛しています。)

番号	分類	ご意見	市の回答・対応方針
1		(すずかけ通りに)安全な、例えば信号機をつけてもらいたいとか、ミラーをつけてもらいたいということを市にお願いした。ところが10月21日に市主催の説明会があり、この中でちょっと残念だったのは、事故が起きたら安全対策を考えるという返答だったことだ。	都市計画道路の三鷹3・2・6号線や武蔵野3・4・24号線が暫定とはいえ開通し、南北交通の利便性が高まることにより、住宅地内への通過交通は必ずしも多くないと予測しています。安全対策につきましては、様子を見ながら、必要な対策を行っていきたいと考えております。
2	道路の安全対策	武蔵境通りの広いところに、朝、ダンパーが多く停車している。ほとんど朝、エンジンはかけっ放しで、おそらく順番待ちをしているのだが、あの辺は警察に言ってもなかなかちがが明かない。交通事故が起きてからでは遅く、特に通学の時間帯は、横断歩道の近所で大きなものがとめられると見通しが悪くなり危険なので、その辺の安全について警察だけではなく、市のほうでも何とか子どもたちの安全を守っていただきたい。	武蔵野警察署に伺ったところ、通報が入り次第、現場に赴き、指導・取締りを行っている旨の回答を頂きました。市としても、警察署と連携を図り、状況に合わせた安全対策を進めていきます。
3		安全で安心な道路作りの1つとしてセイフティーゾーン30を推進してもらいたい。特にスピード違反及び駐車違反を撲滅し、事故の少ない町にして欲しい。(定期的に重点箇所を決め、違反を防止する)	武蔵野警察署に確認したところ、学校等の施設が存在する地域を重点的に推進していくこととしている旨の回答を頂きました。駐車違反等に関しましては、現認した際に通報していただきたいと思えます。
4		いまだに道路の整備が終わっていない。早く道路を整備していただきたい。	本市では早くから住宅地域の道路網が整備されていましたが、住宅地内の生活道路は、住宅から幹線道路までの移動経路でもあることから、歩行者の安全性と快適性や楽しさを重視した整備を進めています。また、市内には道路幅員が4メートルに満たない狭あい道路が多数あるため、平成8年度より「狭あい道路拡幅整備事業」として、主に建築の際に建築主の協力を得て、着実に拡幅整備を進めています。
5	道路整備	赤十字病院前付近に消防、救急、福祉が移転する計画とのことについて質問。移転は結構だし、考え方も大賛成ですが、いわゆる消防車等の出動などについて、道路事情が気になります。連雀通りは歩道が狭いとしても危険。バス、車の運行が多いのに対し、貧弱な道路といえるのではないのでしょうか。対策を一。	連雀通りは東京都所管の道路で、三鷹都市計画に定められています。今後とも、東京都に対し歩道拡幅など、本路線の事業化を強く要望していきます。

番号	分類	ご意見	市の回答・対応方針
6	生産緑地	<p>武蔵野都市計画生産緑地87について利用計画はどうなっているのでしょうか？保育園の裏で一般道路沿いに高さ1mのコンクリート柵が37本あり、それぞれが有刺鉄線で張られています。かなりの空き地で、内側にも有刺鉄線が張られていたこともあります。この土地の性格は何でしょうか？緑地として施設がなくても、住民にとってはありがたいスペースです。反対に危険なサクの存在はいかがなものでしょうか。</p>	<p>市立境南保育園の南側にあります生産緑地では、芝生が育成されており、この農地で育成された芝生を出荷していません。一見したところ、芝生の空き地に見えますが、売り物の芝生が育成されているところですので、立ち入り制限がされております。</p>
7	都市農地の活用	<p>この地域は数十年の単位で見ると、開発に伴って農業地域が減少している。開発や整備は都市的な部分に目がいきがちだが、都市農業の意義が再評価されており、これは生産、供給という点からは量的には少ないが、緑の保持や防災面、学びの場であるといったところから、都市的な部分と、農村的な部分が入り組んで残っていくという形が望ましいのではないかと。</p>	<p>市の農地面積は、約32haと、都下でも狭いものですが、約80戸の農家が直売所や学校給食の食材へ新鮮な農産物を安定供給しています。武蔵野市農業振興基本計画でも、武蔵野農業の将来像として、「市民の豊かな生活を彩る農業」、「市民生活を支える年の内の保全」を基本方向として位置づけています。</p>
8	医療機関	<p>個人の医院が最近無くなり、日赤は紹介状とか気軽には行けない。困ったことです。</p>	<p>市内の医院は、統計上では微増していますが、お住まいの近くからは無くなってしまったのかもしれませんが。武蔵野赤十字病院は、病院と診療所との機能分担を図り、重篤な患者を扱う三次救急病院の機能を担うために、紹介状の制度を導入しています。そのため、ご不便をおかけいたしますが、なるべくお近くの医院での受診をお願いします。</p>
9	軽費老人ホーム	<p>東京都の用地ということで、東京都から軽費老人ホームが武蔵野市に移管されて今まで管理されてきているという経過の中で建てかえになるわけだが、軽費老人ホームの機能を残すことをぜひお願いしたい。高齢者などの低所得の方で行き場所がないというような方々が多く出ている中で、国と都が助成をして施設を240ぐらいつくりたいということだが、今までできたのは15施設で、わずかということだ。まだ始まったばかりの助成だそうだが、そういった助成も使って、ぜひ強く要望していただきたい。</p>	<p>くぬぎ園の跡地利用については、高齢者、障害者サービスなど特定の目的に限らない、地域の拠点機能も含めた多機能型・複合型の施設としての整備を検討しています。ご意見を頂いた件につきましては、都市型軽費老人ホームのことかと思われませんが、現在低所得の高齢者向けの施設や住宅としてシルバーピアや養護老人ホームなどもあり、それらの状況と総合的に検討していきます。</p>

番号	分類	ご意見	市の回答・対応方針
10	自主防災組織	<p>自主防災組織が最近かなり増えたが、まだまだ少ない。東日本大震災の経験がのどもとを過ぎればというような状況になっているが、市で、もう少し本腰を入れて防災組織をつくっていただくことが重要だと思う。</p> <p>防災、まちづくりをしていくためには、集合住宅と地域の連帯、それをきちんとやっておくことが非常に大事だと思う。</p>	<p>平成25年4月1日現在、自主防災組織は39団体となっております。平成24年度には新たに11団体が結成されました。市では、次のような自主防災組織の結成に力を入れたいと思っています。</p> <p>①避難所運営組織 ②町会的な隣近所での自主防災組織 ③マンション、共同住宅単位での自主防災組織 ②や③の自主防災組織を立ち上げ、地域の自助・共助における防災力を高めることで、避難所に行かないでも生活を継続できるように啓発していきたいと思っております。また、この②、③の自主防災組織が①と連携することで、地域としての避難所運営などの大きな問題についての対応力を向上させたいと考えております。</p>
11	災害時の協力	<p>現在私たち接骨師も何かあったら避難所に足を運んで医療活動をするということもできるのではないかと考えている。市長から要望などがあれば、こちらから手伝いもできると思うので、言っていただければと思う。</p>	<p>災害時の協力について、積極的なご意見ありがとうございます。平成21年2月17日に、接骨師会をはじめ、武蔵野赤十字病院、医師会、歯科医師会等と緊急医療体制に関する覚書を締結しており、接骨師会には避難所救護所や地域拠点病院への接骨師の派遣をお願いしているところです。また、平成25年度は武蔵野市災害時医療対策検討委員会を設置し、災害時医療救護活動や災害時医療の充実強化などについて議論を深め、関係機関・団体等への協力内容について、さらに具体化していきたいと考えております。</p>
12	商店街	<p>境南町4丁目はコンビニ、個人営業の店がなく買物難民になりつつあります。</p>	<p>買い物に不便がある地区にお住まいの方への施策ニーズについては、24年度に実施した産業振興基礎調査の結果をもとに、25年度に策定の産業振興計画(仮称)において検討する予定です。</p>
13	ごみ処理	<p>人口が増えるので、ここから排出されるごみが膨大なものになるだろうということだ。現在、クリーンセンターの建て替えが進捗中だが、当然のことながら行政はこれらのことを前もって予見し、踏まえてつくっているのだろうと思うが、一般の方々にはなかなか、浸透していないのではないかとと思う。</p>	<p>新しいクリーンセンターの基本仕様は、人口推計を踏まえた本市の一般廃棄物処理基本計画に基づいて定めています。ごみ減量を推進する中で適切な規模とするため、焼却処理量は現施設より少ない120t/日と設定していますが、若干の余力を見込んだ計画としています。この建て替え事業の意義・内容等をより多くの方々に理解していただけるよう、今後も様々な手段で広報を進めていきます。</p> <p>また、人口の増減はごみの総量に影響しますので、人口増に伴うごみ量の増も重要ですが、市民1人ひとりがごみ減量の努力をすることが最終的なごみ減量につながるという視点から、現在は「セカンドステージ!!武蔵野ごみチャレンジ600グラム」として様々な広報・啓発活動を行っています。</p>

番号	分類	ご意見	市の回答・対応方針
14	境こども園の対応	<p>(境こども園の)代替施設は、既存の施設に間借りするような状態では安全な保育、満足な教育はできないと思うし、もともとその施設を利用している方もしわ寄せがいくと思う。具体的に今後、どのような対応をとるつもりなのか。</p> <p>具体的にどういう担当部署で、相談ができるということを言えば、お母さん方の不安がなくなるのではないかと。</p>	<p>境こども園は、新園舎において認定こども園事業が開始されるまでの間、公益財団法人武蔵野市子ども協会が市内代替施設を利用して境こども園事業を実施することとなりました。</p> <p>長時間保育は市民会館1階で、短時間保育児は桜堤児童館2階で行います。境こども園事業に必要な工事は、平成25年3月までに完了し、4月1日(月)から「境こども園さかい分園」(市民会館内)、4月8日(月)から「境こども園さくら分園」(桜堤児童館)が開園しています。各施設では、保護者向け説明会等を通じて、園や保育内容等に関する様々な情報を提供し、保護者の方の疑問や不安の解消に努めています。市では、この境こども園事業をハードやソフトの面からバックアップをしています。</p> <p>各施設をご利用の皆様には、新園舎の完成まで、ご不便をおかけすることもあるかと思いますが、どうぞご理解、ご協力いただきますようお願いいたします。</p>
15	枯葉清掃	<p>境南町の枯葉清掃～地域住民の手にあまる。小学校、中学校の社会活動として手伝わせてはどうか。</p>	<p>本市では、道路を機械と人力により定期的に清掃を行っており、特に街路樹の落ち葉の多い時期や場所には、清掃の回数を増やし対応しています。</p> <p>小中学校の社会活動として手伝わせたほうがよいというご意見については、学校に伝えたいと思います。</p>
16	小学校の学区	<p>第二小学校は、1学年2クラスを維持するのが難しいぐらいの過疎化の学校だ。片や、大人の足で10分歩けば着く桜野小学校は校舎が足りないという。何が問題でそういうことになるのかお聞きしたい。学区を少し広げれば何とかできるのではないかと。</p>	<p>武蔵野市の小学校は1学年2クラスは平均的なものであり、第二小学校が特別児童が少ないというわけではありません。</p> <p>桜野小学校においては、大規模な集合住宅の建設により児童数が大幅に増加していることが現状としてありますが、学区のあり方については、学校が地域の核となっていることや全市的な調整が必要なこともあり、慎重に検討していきたいと考えます。</p>
17	桜堤児童館	<p>市の計画だと、子どもへの学齢別に居場所を小学校はあそべえ、それより下の年代は0123なり、今は児童館があるので、児童館だったり、あと、こども園ができましたらその自由来所スペース、そして中学生はプレイスというように、結構すみ分けられているような計画になっているが、児童館は、乳幼児をお持ちのお母さんから中学生までの、幅広い年齢の交流が持てるいい場所でしたので、全市的にそういうスペースを展開していくような方向で考えていただきたい。</p> <p>児童館は、大体いつごろまで今の状態であるのか。</p>	<p>「第三次子どもプラン」及び「第五次長期計画」に基づき、桜堤児童館の果たしている機能について、既存施設への移転を図るとともに、異世代交流等については、コミュニティセンターや、各施設のイベント等ソフト施策により、機能移転を進めていきたいと考えております。現在、武蔵野市の小学生の放課後施策のあり方については、「小学生の放課後施策推進協議会」において、時期も含め検討しているところです。</p>

番号	分類	ご意見	市の回答・対応方針
18	武蔵野プレイス	<p>(武蔵野プレイスは)我々が何かイベントをやろうとすると非常に使いにくい。例えばチラシ一つ置くのも、1階部分には置けないとか、そこでイベントをやるのにそこへはポスターを張らせてもらえないとか、利用しにくい部分が多いというのが、ここ何回か使っていて感じている。複合施設であることが、足かせになっているのではと感じる。</p>	<p>プレイスの館内を巡っていただき、様々な活動を目にさせていただき、という趣旨から、チラシは3階に集約し、イベントの掲示物は1階エレベーター前の掲示板に貼る、という運用をしておりましたが、貸館の利用者その他の利用者双方の利便性向上のため、1階にチラシラックを新たに設置し、プレイスを会場に行うイベントについてはチラシを置いていただけるようにいたしました。なお、ポスターの掲示については事業団及び市関係のものに限らせていただいております。</p>
19	武蔵野プレイス	<p>プレイスができるときに、障害者のトイレについて希望を言ったが、すごくいいのができるからと言って、私の意見を聞いてくれなかった。できあがってみれば、私のように全く歩けない人間にはわかりづらいものだった。</p>	<p>各階にだれでもトイレを設置し、各フロアすべて同じ位置に設置していますが、エレベーターからは離れた場所になっています。場所がわからないときにはお気軽にお声をかけていただければ幸いです。</p>
20	コミセンの活動支援	<p>(コミセンの運営委員は、)80を過ぎたら引退という話になった。しかし、武蔵野市はどういうわけか、半世紀前からコミセンの運営に関しては金は出すけど口は出さない、これを金科玉条のごとく、半世紀言い続けてきている。ぜひそこら辺をご指導いただきたい。</p>	<p>コミュニティセンターの運営ルールは、各運営協議会毎に決めております。しかしながら、地域のコミュニティづくりには、誰もが自由に参加できなければなりません。コミュニティ協議会には、この趣旨を踏まえて検討していただくようお願いいたします。</p>
21	コミュニティ	<p>集合住宅と周辺住民の方々と、どういふふうにしてうまくいっているか。うまくいっている事例があればお教えいただきたい。</p>	<p>コミセンを活動拠点として、地域住民が組織するコミュニティ協議会が地域のコミュニティづくりをすすめています。コミュニティ協議会の活動に参加・協力いただき、コミュニティの輪が広がることを期待しています。</p>

番号	分類	ご意見	市の回答・対応方針
22	タウンミーティング	質問は3分でも仕方がないが、単なる市長に対する質問では、問題点を掘り下げる事はできないので、意見交換ができるような集まりを計画してもらいたいです。	市では、長期計画等の策定だけではなく、個別の事業実施等において、パブリックコメントとして意見を募集したり、説明会を開催するなど、広く市民の方のご意見をお伺いしています。 多くの方からいろいろな意見をお伺いするためには、時間的な問題もあり、一つのテーマを深く掘り下げて意見交換することはむずかしいですが、今後もさまざまな機会や媒体を通じて、市民の方のご意見を伺っていきたくと考えています。
23	歴史資料館	10～30才代の若い参加者が少ない。子ども連れでも参加できる雰囲気を作り幅広い年代の意見を求めるとよい。	これまでに、学生とのタウンミーティングや保育付のタウンミーティングを実施したり、屋外で開催する際には、お子さんと一緒に体操する時間を設けたりするなど、若い方にご参加いただけるような機会を設けています。 今後も、幅広い世代の方のご意見をお伺いできるような機会をつくっていきたくと考えています。
24	出前講座	西部図書館跡を、上のほうは郷土資料館、下のほうを地域のスペースとしてぜひお願いしたい。	第五期長期計画において、「旧西部図書館は、市民が利用可能なスペースを備えた歴史資料館として再整備することとし、その活用方法については今後、検討を進める。」としました。これを受け、説明会、パブリックコメントなどを行いながら検討を進め、平成25年3月「武蔵野市歴史資料館整備計画」を策定しました。今後はこの計画に沿って、1階は展示室と市民スペース、2階は会議室と収蔵庫として改修工事等を行っていきます。
25	市民の力を活用する仕組み	出前講座について「健康づくり」や「消費生活」だけでなく、市政、福祉、防災などにも広げていただきたい。	事業周知だけでなく、施策の課題・背景を踏まえた情報提供を適時適切に行い、市民と市のコミュニケーションをより活発にすることが、市政への信頼を高めることにつながると考えています。出前講座に関しては、公共施設再編や心のバリアフリー推進、地域防災などをテーマに、今後も実施していきます。
26		市職員も実地で活用する社会システムを作り市民が参加する場を作りましょう。農地も市が借用し、高齢者に農業をさせるとか地域の道路清掃は地域の高齢者を活用する等実務をしながら地域の産業を少しずつ活性化したい。	武蔵野市市民活動促進計画に掲げる施策「課題解決のための連携と協働の促進」において、市民参加の場となる様々な形の協働を推進していきます。 また、今後、地域の住民の力を活用し、地域の課題を住民が解決できるような、コミュニティビジネスを育成するモデルについて検討を行う予定です。

番号	分類	ご意見	市の回答・対応方針
27	都市基盤整備	下水道が古くなってきていますので、金額がすごくかかるのでこれからの財政上心配です。	本市においては、昭和40年代に集中的に建設された下水道施設が今後更新時期を迎えるため、財政的な負担が大きくなることが予想されます。雨水にかかわる経費は公費で負担し、汚水にかかわる経費は下水道使用料で賄うことが原則であるため、使用料を適切に見直すとともに、世代間の公平性の観点からも市債を活用し、費用の平準化を図っていきます。
28	障害者施策	障害者の声を施策・事業に反映させてほしい。	適切な行政サービスを実施するためには、市民ニーズの的確な把握が最も重要と考え居ています。例えば、障害者計画の策定にあたっては、実態に即した具体的名障害者施策を検討するため、45団体から現状・課題・要望等をヒアリングを実施するなどしております。また、タウンミーティング、市政アンケートなどあらゆる広聴の機会を充実させて、多様な意見、考え方を持つ市民の声を聴き、市民ニーズの的確な把握に努めております。市民と市が課題を共有し、課題を解決していく体制を構築していきます。
29	公共施設	市施設を作るだけでなく、整理、統合、廃止も必要。税金を減らすことを考えてほしい。スイング、プレイスの代わりに市民会館、西部図書館は売却する。	市では多くの公共施設の老朽化が進み、今後、その維持・更新に多額の費用が必要となります。厳しい財政環境の中で、市民生活を支える施設サービスを維持していくために、『公共施設再編に関する基本的な考え方』を3月に公表しました。今後、この考え方に基づき、公共施設の統廃合、複合化・転用による旧西部図書館など既存施設の有効活用、利活用の予定がない土地・建物の売却等の再編案を作成します。そして、この案をたたき台に市民・議会・行政による検討を経て、平成28年度から始まる第五期長期計画・調整計画において公共施設再編を進めていきます。

3. アンケートでいただいた感想

(※アンケートの自由回答欄でいただいた感想のうち、主なものを掲載しています)

1	会場の左前のホワイトボードに議論されているテーマについてリアルタイムでメモして頂いたことは、非常に分かりやすかった。また、タウンミーティングの結果を記録として残し、公開していることは高く評価できる。この成果を市政に有効に利用して行って頂きたい。
2	問題が局所的になってしまうと、事情がわからない人にとっては理解が難しい。予めテーマを募って回答するか、担当者を揃えて対応した方が良いと感じる。市長の真摯な姿勢には好感を持てるが、より具体的な回答をして欲しい。また、市へのクレームの意見ばかりでは前向きに発言しにくい。
3	市民との対話は民主的な市政を前進させる上で大事です。これからも大いに進めて下さい。
4	市民が意見を述べる等できる機会を設けていただけることは、とてもよいことだと思います。ただ、一過性のものとならないように。実効性のあるものとなるようにタウンミーティングは継続して行って欲しいと思います。また市民の考えを反映できるような実効性のあるシステム、ルートを複数整備してそれらを常時作動させていくことが重要と思います。
5	ふだん聞かないような大人の方の意見を聞く事ができて良かった。20代の方がもっと自分の街に興味を持つ。話を聞くのが大事だと思う。
6	会場の雰囲気も良く、市長との近いことから意見も活発に出て有意義な時間だった。このような場への参加は初めてだったが、地域の中での様々な課題、市の取り組みを知る機会とできたことに感謝します。

第49回 市民と市長の タウンミーティング

日時

平成25年1月20日（日）

午後1時30分から3時30分（開場：1時）

テーマ

みんなで話そう。
武蔵境のまちづくり

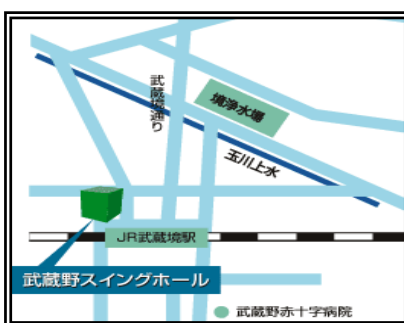
内容

市民と市長がテーマに沿って意見交換を行います。

場所

武蔵野スイングホール 11階 レインボーサロン
（境2-14-1）

公共交通機関をご利用ください。



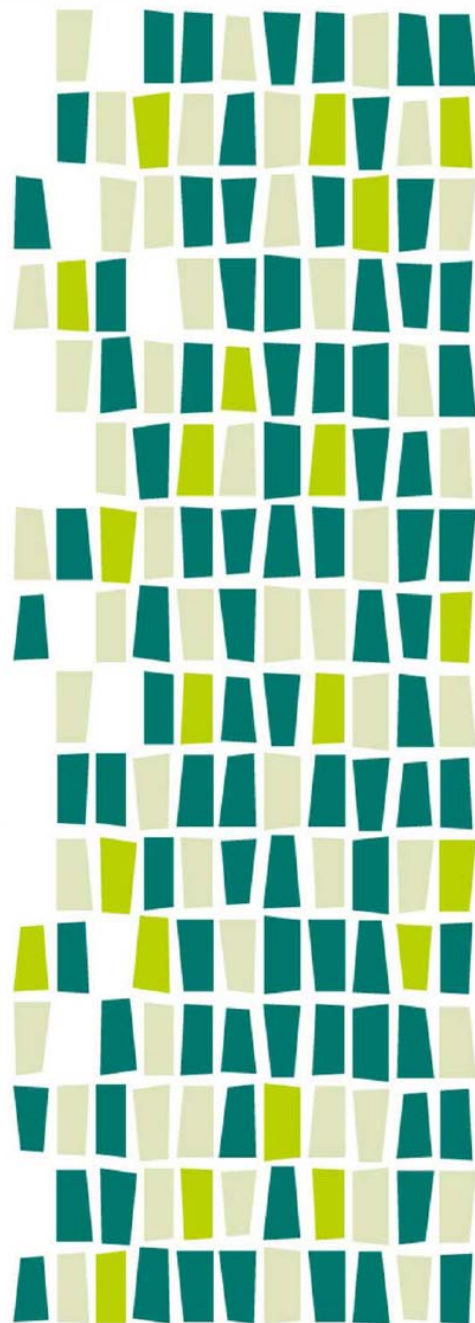
主催

- ・ 西部コミュニティ協議会
- ・ 境南コミュニティ協議会
- ・ 桜堤コミュニティ協議会
- ・ 武蔵野市

問い合わせ 武蔵野市役所 市民活動推進課 電話 0422-60-1829

FAX 0422-51-2000

お申込は不要です。直接会場へお越しください。



市民と市長のタウンミーティング

〈テーマ〉

みんなで話そう。武蔵境のまちづくり

■ 変わりゆく西部地域

高架化による南北の一体化、武蔵野プレイス、増加する大型集合住宅など

■ 地域のコミュニティ

集合住宅と周辺住民との関わり、身近な商店街との関わり、災害時の助け合い、コミセンの役割など

当日参加できない方で、上記のことについて、市長にご意見・ご要望のある方は、下記枠内にお書きになり、市役所（7階）市民活動推進課、または各市政センターにお届けいただくか、FAXで市民活動推進課（0422-51-2000）にお送りください。



第49回

地域別
市民と市長のタウンミーティング

報告書

発行 平成25年5月

武蔵野市 市民部 市民活動推進課

武蔵野市緑町2丁目2番28号

電話(0422)60-1829 (直通)